

平成29年度 上島幼稚園 自己評価結果公表シート

1、本園の教育方針・目標

生活体験の中心である「あそび」は心身の調和のとれた発達の基礎を培う学習です。私たちは子どもたちが主体的に遊びを展開し、豊富に様々な体験を積み重ねることを重要と考えています。上島幼稚園は幼稚園教育要領を基に「健康な体」と「豊かな心」を持つ心身ともにバランスのとれた人間としての基礎づくりを目指しています。

- ・健康で明るくたくましい子ども
- ・友だちと仲良く遊べる子ども
- ・心情豊かな子ども
- ・自分で考えて行動できる子ども

2、本年度の年間目標

年間目標：豊かな発想！豊かな表現！

年少目標：園生活に慣れ、友達や教師と楽しく遊ぶ。

年中目標：教師や友達の思いに触れ合い、意欲的に楽しく表現する。

年長目標：友達と思いを伝えあいながら、協力して遊びや生活を作り出す。

3、評価項目の取組と評価

※自己評価は6項目に分かれ、各項目の設問を教員が解答しています。

※自己評価の評価ポイントは各項目及び設問＜良い：3・普通：2・不十分：1＞の平均ポイントです。評価は最高3点～最低1点で記載しています。

※学校関係者評価のポイントは各項目の取組と自己評価の＜良い：3・普通：2・不十分：1＞の評価です。評価点は評価委員の平均点です。最高3点～最低1点で記載しています。

項目	取組	自己評価	学校関係者評価	学校関係者意見
保育の計画性	園の教育方針・教育目標・年間目標に基づき、教育課程を編成し、年度当初の職員会議にて、共通理解を行う。期案を作成・反省し、保育・教育の実践に取組んでいる。また、園児一人ひとりの年間の個人目標を教師が設定し、子どもの様々な培いへの援助を促進している。	2.1	3	・一人ひとり目標を決めて援助して下さっていて、感謝しています。 ・詳細な教育課程に基づく保育・教育が行われ、信頼感・安心感がある。同様の取組みを継続して下さい。
保育のあり方 ・ 子どもへの対応	主任者会議、学年会議、職員会議を定期的に行い、教育計画・保育計画を実践する。園児一人ひとりの発達・動向も各会議で報告・検討し、全教員が共通理解のうえ、子どもの実態に合わせた保育・援助を心掛けている。また、特別支援計画を作成し、特別支援児への個別援助（医療機関との連携）を実践している。	2.4	2.8	・クラス担任の先生だけでなく、園の先生方みんなが、子どもの事を知って下さっています。 ・園児一人ひとりを理解し大切にしている様子がわかる。全教員での共通理解を心掛けている点もよい。
保育者としての 能力や良識	園内新任者研修時に就業規則・勤務規律の研修を実施。また、自己評価により保育者としての能力や良識を各教職員が反省し、自己の見直しによる改善努力を行っている。	2.2	2.5	・新しい歌や踊りをやると、子どもはとても喜んで家でもやっています。 ・自己評価だけでなく他人評価も取り入れたらどうか？
保護者への対応	園の様子の発信として、園便り・学年便り・HPの行事画像の更新等を定期的実施する。また、担任との連絡帳での対応の他、学期毎の個人面談を基本に、保護者の希望により常時面談する機会を設け関わりを深めている。	2.4	2.8	・園での様子を連絡帳や送迎時に教えていただけて、とてもうれしく思っています。 ・定期的に園での様子や状態を細かく伝えて頂き、子どもが話をしてくれない事も分かるので、大変助かります。 ・先生によって連絡帳を書いてくださる回数がちがうので、最低〇回など決まっているといいかもです。 ・Te l連絡や送迎の先生に伝えてもらったりで、手厚くてありがたいです。 ・子ども達の様子をよく観察して下さい、連絡帳で伝えて下さるので、とても嬉しいです。 ・HPの内容がもっと充実すると良い。
地域の自然や社会との 関わり	就学時に向けた小学校との交流や聴覚特別支援学校訪問を実施し、中学生の体験学習の受入れを積極的に行う。また、地域の幼小中連絡会にて連携を行い、小学校への参観会や地域の防災会議連絡会等に参加する。医療機関や保健センター等との各種機関との連携を行う。	1.8	2.3	・中学生のお兄さん・お姉さんが来て一緒に遊んでくれるのが、とても嬉しいようです。

<p>研修と研究</p>	<p>本年度は静岡県私立幼稚園振興協会各種研修会、浜松市私立幼稚園協会教員・実技研修会・共同研究、東海北陸教育大会、普通救命講習の外部研修に参加。園内研修で防災研修、研究保育を実施。共同研究の協力園として、前年度の研究活動を継続している。</p>	<p>2</p>	<p>2.3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの研修をこれからもよろしくお願ひします。 ・充実した研修参加に感心しました。ぜひ、保育向上のために活かしてほしいです。
--------------	---	----------	------------	---

4、自己評価のまとめ

<反省点・改善点より抜粋>

- ・子どもとたくさん関わり、もっと遊びを広げていけるようにしていきたい。
- ・後輩への指導や助言の際、自分の考えを押し付けてしまったり、口調が強くなってしまったりしたので、落ち着いて話せるように気を付けたいです。
- ・子どもが理解し・興味を持てる話し方をしていきたい。
- ・保育において、活動ごとの明確なねらいや目標をもたずに中途半端な保育になってしまうことがあるため、何のためにやっているか細かく考えて保育を行いたい。
- ・一つ一つの指導力、スキルを上げていくことが今後の課題です。

<教育活動の新しいアイデアより抜粋>

- ・運動会の練習が室内練習が多くなってきているので、室内用の3m・5mのパラバルーンが欲しいです。
- ・子ども達の様子や園の活動をよりご理解いただくために、PTAの役員だけでなく、多くの保護者のみなさんに行事に参加していただけたら良いのではと思います。
- ・預かり保育の教材を取り入れて欲しい
- ・運動会の横断幕がよかったです。ちょっとした飾りで雰囲気が変わるので、浜私幼フェスタなどでもできると良いと思いました。
- ・学期に一度ピクニックのように敷物をしいてお弁当を食べる日を作ったらどうか（送迎コースまたは縦割りクラスで食べ、異年齢との関わりを増やしたらどうか）。

<評価項目について>

- ・前年度と同様に「保育の計画性」「研修と研究」について、教員の経験年数により自己評価の違いがうかがえます。上記の改善点やアイデアでは各教員の意見・自己改革等が他にも多く挙げられています。これらの意識を子ども達への保育に向けていきたいと思ひます。

5、今後の課題と取組み

課題	取組
<p>保育の計画性について</p>	<p>遠足等の行事の見直しを行う。満3歳児入園児への保育の充実を目指し保育計画を再検討する。</p>
<p>研修と研究</p>	<p>改訂された幼稚園教育要領の研修を行う。浜松市私立幼稚園協会の共同研究に積極的に取り組み、各研修・研究に参加する。また、引き続き園内研修の在り方について検討する。</p>
<p>防災</p>	<p>園の防災体制について毎年繰り返し確認を行い、月毎の職員会議時に行っている防災研修を通し、職員防災意識の更なる向上を目指す。</p>
<p>地域の自然や社会との関わり</p>	<p>地域で行われている道路拡張工事への安全対策として、徒歩送迎ルート及びバスコースの見直しを継続する。</p>